

スパイク

KKKKだ！

武器を持ち、キッズに襲いかかるKKK。照明が赤く染まる。キッズとKKKの格闘が踊りで表現される。マイクはひどく殴られて、舞台中央に倒れ、気絶する。KKK退場し、M8終了。袖からスパイク登場。マイクに駆け寄って叫ぶ。

スパイク

マイク！ マイク——！！

暗転。転換音楽。舞台転換。

第七場 アネットの店

夜。アネットの店。街の背景も夜景。店の玄関扉が開き【SE】、ジャネットが帰ってくる。心配して待っていたアネットが声をかける。数人の女工たち。転換音楽終了。

アネット

ジャネット。マイクは？ どうなった？

ジャネット

行ってしまったわ。仲間たちのところへ。

アネット

ベスに聞いたよ。マイクはゴロツキのスパイクたちと一緒にだつてさ。白人と年中衝突を起こしている奴らだよ。

ジャネット

マイクも、仲間になつてしまったのよ。

アネット

たぶらかされたんだ。マイクは分別のあるいい子だからね。あんな奴らとは違うさ。

突然、店の扉【SE】が開き不良たちが登場。驚く女工たち。

アンジェラ

（気づいて）アネット！

女工たち

キャ——ッ！！

血だらけのマイクを抱いたタイガー、続けてスパイクとリンが店の中に入ってくる。

ジャネット

（大けがをしたマイクを見て）マイク！！（駆け寄る）

スパイク

KKKにやられたんだ。

ジャネット

（震え上がる）KKK！

アネット

プリシー！ ベス！ リーナ！ 薬箱を取って来てちょうだい。それから包帯と毛布。プリシー、お医者さんまで走って来て。マイクがけがをしたからすぐ来てくれって。

プリシー
ハイ！（やくざたちに脅えつつ、玄関から走って飛び出して行く）

ジャネット
（弟にすがって泣く）マイク・・・マイク。

リン
大丈夫よ。応急手当はしといたわ。気を失ってるだけよ。

アネット
（リンに）帰っておくれ。ここはまともな店なんだ。あんたのような女が来るところじゃない。

リン
（ふてぶてしく）じゃあ、道ばたにほっぽり出しときゃよかった？

アネット
（彼女とは話を切り、スパイクにふる）スパイク。訳を話してちょうだい。なぜKKKに襲われたのか。

スパイク
（せせら笑って）仕返したよ。俺たちが博打で白人から金を巻き上げたからさ。

アンジェラ
どうせいかさま博打だろ！

スパイク
そうさ。マイクは博打に手を出さなかった。一緒にいて、逃げ遅れたんだ。（笑って）トロいからな。

ジャネットが突然スパイクにつかみかかる。驚く女工たち。

ジャネット
あんたが、あんたがやられればよかったんだ！

アネット
ジャネット！（女工たち数人でジャネットをスパイクから引き離す）

ジャネット
あんたたちがマイクをこんなことにしたのよ！今までKKKに襲われるなんて、そんなことなかったのに、あんたたちがマイクをそのかしてこんな目に合わせたんだ！（もう一度つかみかかる）

スパイク
殴られるのがこわいのか！

ジャネット
あんたが殴られればよかったのよ、マイクのかわりに！！

ジャネットはスパイクに平手打ち。（SE）タイガーが二人の間に割っては入り、ジャネットを突き飛ばす。女工たちがジャネットを守る。恐ろしい目でジャネットを睨み、近づくタイガー。

タイガー

・・・もう殴られて来たさ、何度も。リンチで半年目が見えなかったこともある。両手の爪を全部はがされて、しばらく爪がはえて来なかったこともある！どうやってはがすのか、あんた知ってるかい？（ジャネットの右手をつかんで）手を押さえて！一枚一枚、ペンチではがして行くんだ！

恐怖で悲鳴を上げる女工。スパイクがタイガーを押さえる。

アネット

（スパイクに）子供の頃は、いい子だったのに。あんたが生まれた時、親父さんは、それは喜んで、街の人みんなに食事を出してくれたんだ。いい親父さんだった。

スパイク

そうさ。その親父は白人に殺された。どんな死に方だったか、教えてやろう。目をくりぬかれ、両手を縛られて木に吊されたんだ。警察はそれ

を見て、自殺だと結論した。(怒り) 自分で目をくりぬき、両手を後ろに縛ってから木にぶら下がって死んだんだと！ お袋はそれがもとで精神病院へ行き、そこで死んだ。死んだお袋を見た時、体中アザだらけで、顔は二倍に膨れ上がっていたが(涙声)、医者には病気で死んだと言うんだ。葬式で見知らぬ男がそつと教えてくれたよ。お前のお袋は、白人の医者にレイプされたあと、首を絞められて殺されたんだと！ 俺たちはいまだに奴隷と一緒にんだ！ お前たちだってそうさ！ 奴隷のままで生きるか、戦って死ぬしか道はないんだ。

全員沈黙する。ベスが立ち上がり、震えながらつぶやく。

・・・戦う勇気なんかないわ。殴られるのはこわいもの。

ベス

ダイアナが口を切る。

ダイアナ

あなたたち聞いた？ 今日、黒人の女性が逮捕されたんだって。バスの中で、白人の席にすわったからだって。一日中立ちっぱなしで働いて、空いている白人の席にすわった。たつたそれだけのことで、バスから引きずり降ろされて逮捕されたってさ。(涙を溜め) この人の言う通りじゃないか！ 私たちは奴隷なんだ！

ベス

だからどうしようって言うの？ 白人に逆らったら、どんな目に合うかさんざん見てきてるわ。家や教会に火をつけられて、大勢の黒人が死んだ。あんな恐ろしい目に合うのは、耐えられないわ！

リーナ

私、本で読んだことがあるわ。消極的に悪を受け入れる者は、悪を認め、悪を育てる者だって。

ジャッキー

そうよ！ 私たちもつと怒るべきだわ！

アネット

怒ってどうすんだい？ そのバスに爆弾でも仕掛けるかい？ そんなこと

をしたら泥沼だよ！

ジャッキー

じゃあ、下を向いて黙って耐えているの!?

アンジェラ

それじゃ、奴隷と変わらないわね。

全員沈黙する。戦うか、沈黙するか、どちらの道にも希望はないよ
うな行き詰まり感が支配する。

ジャネット

(苦し紛れに)・・・何かが出来るはずよ。いいえ。何かをしなくてはならないわ。もうこんなことはたくさん。暴力も、憎しみも、もうたくさん。何かを・・・変えなければならぬわ。

ステファニー

何を・・・変えるの？

ジャネット

キング牧師が言っていたわ。まず、私たちが変わらなければならない
って。

ダイアナ

夢を見るってこと？ 夢見てこの現実を変えろって言うの！

玄関の扉が乱暴に開き【SE】、プリシーが店内に駆け込んで来る。

アネット

プリシー

プリシー！ お医者さんは!?
（大慌てで説明）いなかったの！ 今夜教会で行われる集会に行っちゃって！ 黒人女性がバスに乗って逮捕された事件で、街の黒人たちが抗議の集会を開くんですって！ ビラをたくさんもらったわ！ みんなに配ってくれって！

女工たちはプリシーのビラを奪い取る。

ステファニー

アネット

アネット！ ビラを読んで！

（ビラを読む）『ローザ・パークス夫人逮捕に対する抗議の声明。我々モントゴメリーの黒人は、クリーヴランド・アヴェニュー・ルートのバスで、白人の席にすわったローザ・パークス夫人の逮捕に抗議するため、連邦裁判所に訴えると同時に、全市をあげて人種隔離バスのボイコット運動を呼びかけるものとする。マーティン・ルーサー・キング・ジュニア！』

ジャネット

キング牧師だわ!!

目を輝かせてビラの声明を見るジャネット。「ボイコット運動」という第三の道の出現にどよめく女工たち。力が生まれる。

ポーラ

リーナ

ステファニー

バスをボイコットするんですって？
ええ！

そうすりゃバス会社は困るはずよ！ あのバスを利用しているのは、ほとんどみんな黒人だもの！

でも、黒人全員がボイコットしなければ意味がないわ。

バスを利用して黒人は、何万人ているのよ！

そんなこと無理だわ。

でもチャンスだわ！ この街が変わるチャンスよ！

やるなら、この街全員の協力が必要だわ！

困ったなあ。私、そのバスに乗ってここに通ってるのよ。

歩きなさい。足腰鍛えられるわ。

（新聞を読むリーナに）もっと詳しいこと書いてある？

ええ。明日の月曜日には、仕事、街、学校などどこへ行くにもバスに乗らないようにしようって。みんなで自動車に相乗りするか、自転車をかうか、歩こうって。それ以上の詳しい指示については、今夜七時からホール・ストリートの教会で開かれる集会で、キング牧師から直接伝えると書いてあるわ！

アンジェラ

アネット。自転車貸して。

アネット

（決意）みんな・・・教会へ行きましょう。キング牧師の話を聞きに行くのよ！

女工たち、歓声。生き生きと動き出す。脅えるベス。

ベス

（アネットに）もし、教会が白人に襲われたら？

アネット

私が守ってやるわ。支度しなさい！ ポーラ！ リーナ！ 店を締めておくれ！

ポーラとリーナ

ジャネット

（恐れるベスに）大丈夫よ、ベス。勇気が必要な時もあるの。

ベス

（小さくうなづいて動き出す）

アネット

ジャネットはここにいるマイクについていて。お医者さんを呼んで来るわ。

マイク

（突然身を起こして）姉さん・・・姉さん。

スパイク

（気づいて）マイク！

弟のそばに駆け寄るジャネット。

マイク

（すがりつくように）僕も・・・教会へ連れて行って・・・お願いだ。キング牧師のもとへ。

暗転——音楽。

第八場 教会

M 9

「自由への行進（教会）」

キング牧師の話を聞くために教会に集まって来る大勢の黒人。

群衆

今時が来た 私たちは歩き始める

自由の道を確かに踏みしめて

明日へ続く この暗い道を

歌いながら 歩いて行こう

黙っているのはもうやめだ

屈辱は胸にしまっておけ

怒りと涙をこの歌にして

今立ち上がり 私たちは歩き始める

自由の道を確かに踏みしめて